

新潟県

Niigata Construction Technology Center

建設技術センターだより

2017
秋号
Autumn

苗名滝

日本の滝百選にも選ばれている関川にかかる
落差55メートルの直瀑で迫力満点の滝。
癒しを全身で感じられます。
これからの季節は紅葉がとてもきれいです。

目次▼	
● 市町村紹介コーナー「妙高市」	2~3
● 発注者支援事業紹介	4
● 新採用職員紹介 新技術展示・発表会のお知らせ	5
● センター INDEX 建設材料試験の豆知識 雪のことば・雪のこころ	6~7
● 新潟の地酒巡り「尾畑酒造」 編集後記	8



生命地域創造都市



妙高市のプロフィール(2017年8月末現在)

面積 / 445.63km²
 人口 / 33,171人
 世帯数 / 12,381世帯

<http://www.city.myoko.niigata.jp>



妙高市の概要

妙高市は、新潟県の南西部に位置し、上越市、糸魚川市、長野県の飯山市、長野市、北安曇郡小谷村、上水内郡信濃町に接しています。市の総面積は、445.63km²で新潟県の総面積の3.5%にあたります。

地形は、日本百名山の妙高山や火打山をはじめ、斑尾山などの裾野が広大な高原丘陵地帯を形成し、北東部には高田平野が広がり海へと続いています。また、妙高山麓一帯には、妙高戸隠連山国立公園に属していて、苗名滝(表紙写真)や笹ヶ峰高原などの雄大な自然景観や湧出量豊富な温泉、良質な雪が楽しめるスキー場などの観光資源がたくさんあります。

交通基盤のうち鉄道は、えちごトキめき鉄道の北新井駅、新井駅、関山駅、妙高高原駅があり、これらの駅から上越市の上越妙高駅を経由し、北陸新幹線を利用した首都圏、関西圏への移動を容易にすることができます。また、幹線道路は、上信越自動車道、国道18号などが整備されています。



妙高市は 県内一住みよいまち



妙高市は、公的統計をもとにそれぞれの都市が持つ都市力を「安心度」「利便度」「快適度」「富裕度」「住居水準度」の5つの観点から順位を付する「住みよさランキング」((株)東洋経済新報社)では、4年連続(2014~2017年)県内1位となっています。

今後もさらに住みよいまちとなるよう、いつまでも妙高市に住み続けたいと願い、そして住んでいることを誇りに思えるまち「生命地域創造都市 妙高」を目指し、様々な施策に取り組んでいます。



Let's Enjoy Nature!

秋の妙高を全身で満喫できる 妙高・野尻湖バイクロード

自然豊かな妙高を楽しむ方法として、信越9(ナイン)市町村広域連携協議会が(株)モンベルと協同して作成した信越自然郷サイクルマップに掲載されたコースを自転車で巡ることをおすすめします。このコースは、初心者から上級者まで楽しめるもので、主要施設に工具や空気入れ、サイクルスタンドを設置したサイクルステーションもあり、安心してサイクリングを楽しむことができます。



お問い合わせ
妙高観光推進協議会
(妙高市観光商工課内)
☎0255-74-0021



立ち寄りスポット紹介



赤倉温泉足湯公園



いもり池



斑尾高原から見た雲海

サイクリングルート

①信越五高原ルート

まだらお高原山の家から飯綱高原、黒姫高原、妙高高原を通りまだらお高原山の家まで1周するルート(総距離114.2km)

②妙高山麓ルート

妙高高原駅を出発し、上越市の上越妙高駅を目指すルート(総距離42.5km)

③シートウーサミット妙高・野尻湖ルート

野尻湖から笹ヶ峰高原を目指すルートで、SEA TO SUMMIT妙高・野尻湖大会のバイクコースにもなっています(総距離20.5km)



景色を見て楽しむ、
温泉を体で感じるなど
全身で妙高を満喫できます。

16年ぶりに冬季国体が妙高市で開催!

第73回国民体育大会冬季大会スキー競技会「にいがた妙高はね馬国体」が、2018年2月25日(日)~28日(水)に開催されます。現在、「銀世界 跳ねて 駆けて かがやいて」のキャッチコピーのもと、選手及び関係者の皆様をお迎えすべく準備を進めています。国内のトップクラスの選手を間近で見ることができる大会に、ぜひ、お出かけください。

お問い合わせ
妙高市生涯学習課スキー国体推進室 ☎0255-78-7234 FAX0255-86-5750





発注者支援事業紹介



一般国道292号猿橋拡幅1工区 猿橋橋橋脚工事

工事概要

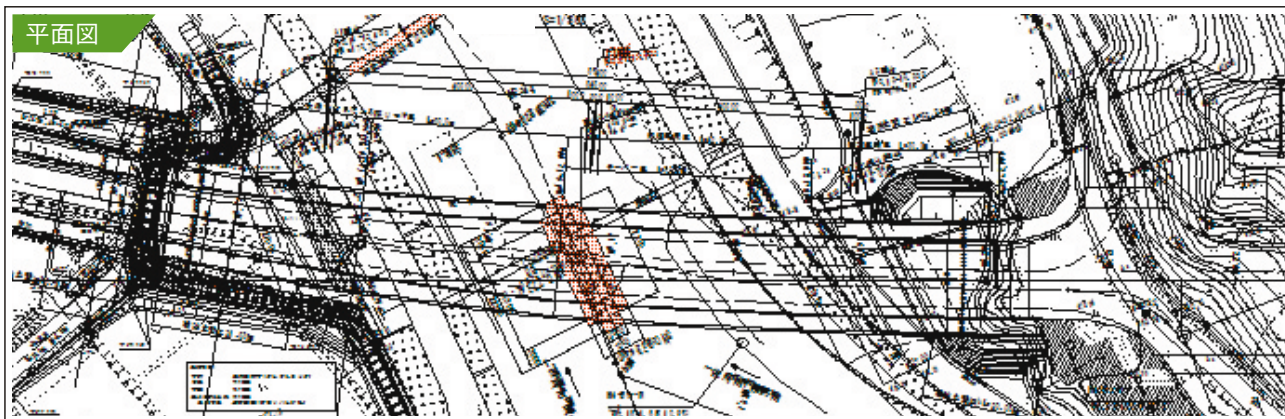
一般国道292号は上越市と長野県飯山市を結ぶ重要な路線で、このうちの妙高市楡島から長沢までの約4kmは、人家連坦部及び狭隘な区間であることから、これを解消するため本事業を通して、広域ネットワークの強化及び第2次緊急輸送道路として機能強化を図っています。



工事内容

- 工事名 / 一般国道292号 猿橋拡幅1工区 猿橋橋橋脚工事
- 工期 / 平成28年8月～平成30年1月(予定)
- 発注者 / 新潟県上越地域振興局地域整備部 道路課
- 工事内容 /

橋脚工	1基
帯工	1基
仮締切工	1式
仮橋工	1式



施工管理状況



管理技術者から一言

この工事は、一般国道292号の人家連坦部を迂回する道路の新設橋梁下部工工事です。橋脚の施工は、仮橋脚及び鋼矢板による仮締切を行ったのちに躯体の施工を行っています。関川の河床材料が転石であることから、鋼矢板の打ち込みはクラッシュパイラーにより打ち込みを行いました。施工管理にあたっては、床掘後に鋼矢板のセクションがかみ合っていないなどの影響がないように打ち込み状況の確認を行いました。また、躯体の施工にあたっては、コンクリート打設の際、湧水や河川水による影響がないか確認を行いました。このように基本的なことを忠実に実行し、これからもより良い品質のものを利用する皆様に提供していきます。

管理技術者 飯田 泰雄

NEW FACE

新採用職員紹介

よろしく
お願いします!

技術部 技術第1課 技術第1係 加藤 太一

平成29年4月に採用となりました、加藤太一と申します。新潟工業高校の土木科を卒業して、現在は技術部に配属され、公共工事発注者支援業務を行っています。

高校で土木を学んできましたが、業務内容は学んできたものとは違い、初めはとても不安でした。しかし、先輩職員の皆様が優しくご指導してくださり毎日少しずつ業務を覚えています。

海とスノーボードがとても好きなので、夏は海、冬は山と、毎週のように体を動かして過ごしています。社会人として仕事とプライベートのメリハリをつけ、充実した日々を送りたいと考えています。

まだまだ分からないことばかりですが、いち早く業務を覚え、センター職員として地域社会の発展に貢献できるよう、精一杯努力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



技術部 技術第1課 技術第1係 木村 沙良

平成29年4月に採用となりました木村沙良と申します。現在は技術第1課 技術第1係に配属され公共工事発注者支援事業の業務を行っています。土木に関して分からないことばかりですが先輩職員の方々の丁寧なご指導のもと、日々の業務に励んでいます。少しずつではありますができることが増えていき、やりがいと楽しさを感じています。

4月からの1人暮らしにもようやく慣れ始め、仕事・私生活共に充実した日々を送っています。1人でも色々なところに行けるようになっていきたいと思っています。

まだまだ分からないことや慣れないことも多く勉強の毎日ですが、信用・信頼をして頂ける職員になれるように日々精進してまいります。よろしくお願い致します。



Made in 新潟 新技術 展示・発表会

「Made in 新潟 新技術普及・活用制度」に登録されている、新潟県内の企業が開発した土木・建設分野の新技術について、その活用事例や実物の展示・発表会を行います。

詳しくは、Made in 新潟 ホームページ
<http://www.shingijutu-niigata.jp/>
をご参照ください。

開催日 11月24日(金)

会場 朱鷺メッセ メインホール



平成29年度
第3回
クリエイティブ
セミナーも
同時開催予定

建設材料試験の豆知識



骨材の単位容積質量及び実積率試験(JIS A 1104)について

1. 試験の目的

骨材の単位容積質量とは、 1m^3 の容器に詰めた、かさ容積の質量をいいます。また、質量をかさ容積に換算するときにも必要な値となります。

実積率とは、粗骨材(砂利)又は細骨材(砂)を、 1m^3 の容器に詰めたときに容器中(骨材と空気)の何%を骨材が占めているか、その容器の体積に対する百分率をいいます。

この単位容積質量と実積率は、コンクリートの配合(調合)を決めたり、生コン工場や建設現場などで骨材を計量する際に必要となります。

2. 試験方法

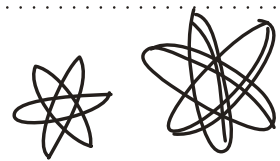


写真1.左から、30・10・2リットル容器



写真2.10リットル容器を使用した棒突き方(ならし後)

※骨材の最大寸法によって、使用する測定容器の大きさが決まります。

《棒突き試験方法》

試料を容器の1/3まで入れ、上面を指でならし、突き棒で均等に所要の回数を突きます。

このとき、突き棒の先端が容器の底に強く当たらないように注意します。

突く回数は骨材の最大寸法に応じて決まります。次に、容器の2/3まで試料を入れ、前と同様の回数を突き、最後に容器からあふれるまで試料を入れ前回と同様の回数を突きます。

《ジッキング試験方法》

容器をコンクリート床のような強固で水平な床の上に置き、試料をほぼ等しい3層に分けて詰めます。

各層ごとに容器の片側を約5cm持ち上げて床をたたくように落下させます。

次に反対側を約5cm持ち上げ落下させ、

各側を交互に25回、全体で50回落下させます。

《骨材表面のならし方》

細骨材の場合は、突き棒を定規として

余分な試料をかきとり、容器の上面に沿ってならします。

粗骨材の場合は、骨材の表面を指又は定規でならし、

容器の上面から粗骨材粒の突起が、

上面からのへこみと同じくらいになるようにします。

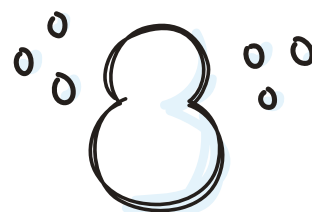
▶ポイント!▶

単位容積質量は、骨材の密度や粒度に影響されることはもちろん、締め固めの程度や含水量の程度にも左右されます。



引用・参考文献:技報堂出版株式会社「コンクリートの知識」

雪のことは・雪のころ



身近な雪対策(その2:着雪対策)

国立研究開発法人防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター長 上石 勲

2017年春号で消雪パイプと屋根雪の耐雪荷重について書かせていただきました。今回は着雪について取り上げます。

冬になって雪が降って歩いていると、傘にたくさんの雪が積もったり、衣服に雪がついて、それを取り払うのが大変になります。また、たくさん雪が降っている時に車を運転していると、フロントガラスに雪がはり付いて、ワイパーで掻ききれなくなり、前がよく見えなくなって運転が大変になったことを経験されている方も多いと思います。

着雪は降雪が含んでいる水の量、雪の温度、風などが影響します。気温が0~1℃くらいで雪が降ると着雪しやすい傾向があります。この気温で降った雪は融けかかっており、水を含んでいるためです。新潟県では、雪はこの気温で降ることが結構多く、まさに、着雪しやすい条件を満たします。また、風が強いほど、その向きに対する面に着雪します。風が弱いと平らなところに、冠のように雪が積もりやすくなります。樹木にも雪が積もりやすく、雪の重さで枝や幹が折れることがあります。たとえば幅の狭い塀の上や、鉄棒にも積もりやすくなります。電線についた雪は、電線の周りを回転しながら着雪量が多くなり、その重さで電線が切れたり、最悪の場合鉄塔が倒れるなどの大災害になることもあります。

雪の降らない地域の信号は、青黄赤の色が横に並んでいます。しかし、新潟県の信号機はご存知の通り、縦に並んでいます。これは、縦のほうが横よりも平らな部分が少なく、冠雪しづらいためです。最近では、熱を出さないLEDの信号機も増えており、雪と風をもろに受けると着雪し、信号が見えなくなることもあります(写真1)。



写真1 信号機への着雪

道路にたくさんある標識もこの着雪には困っています。新潟県内でよく見る標識の上に三角の屋根が付いていますが、これが付いていても、条件によっては屋根の上に雪が積もることがあります(写真2)。大量に積もったこのような冠雪が落ちて、運悪く通過した自動車に衝突すると、フロントガラスが割れたり、車がへこんだりします。そのため、道路管理者の方が、棒で下からつついて雪を落とすなどの対策をしています。



写真2 道路標識への着雪

このように、完全に着雪や冠雪を防ぐ対策はありません。このやっかいな雪害を克服するアイデアを、皆さんからも出していただくと雪国の安心と安全に大きく貢献できると思います。

特集

新潟の地酒巡り

vol.3

全国的にも評価が高い新潟の清酒。
そのおいしさの秘密を紹介します。

佐渡の酒蔵

尾畑酒造

朱鷺が舞う島での酒造り

日本酒は故郷の魅力を伝える語り部です。佐渡は朱鷺が住む美しい環境がある島。私たちは佐渡という島だからこそ醸すことが出来る味わいを目指し、お酒を通して佐渡と世界をつないでいきたいと思えます。

専務取締役 尾畑 留美子



1.「大吟醸 真野鶴・万穂(まほ)」華やかなフルーツを思わせる優雅な香り、まろやかな口当たり、透明感の溢れる風味はまさに酒の芸術品。世界最高権威を誇るワイン品評会インターナショナル・ワイン・チャレンジ日本酒部門で「金メダル」受賞、また全国新酒鑑評会にて11回金賞に輝くなど、これまでに多くの荣誉に輝く。2.「真野鶴 大吟醸」フルーティな香り、淡麗で軽快な味わい、まろやかな喉越し。180mlサイズは、エールフランス航空ファーストクラス&ビジネスクラス機内酒に採用されている。3.「真野鶴 純米吟醸 朱鷺と暮らす」佐渡の米・水・人・自然にこだわり醸した純米吟醸。佐渡市の「朱鷺と暮らす郷づくり認証米」に指定された「越淡麗」のみを100%使用。爽やかで力強い米の旨味を感じる味わい。平成29(2017)年5月からJR東日本が運行を開始した「四季島」のダイニングでも提供されている。



尾畑酒造株式会社

〒952-0318 新潟県佐渡市真野新町449

TEL.0259-55-3171

URL: <http://www.obata-shuzo.com/home/>

○創業/明治25(1892)年

○銘柄/真野鶴、学校蔵

○見学を希望される方は、ホームページの

「蔵見学申し込みフォーム」より申し込みください。

尾畑酒造は、明治25(1892)年、初代・尾畑与三作(よそく)氏が真野村新町(現・佐渡市真野新町)の地に江戸時代より続く銘醸蔵を譲り受け創業しました。

酒造りの三大要素といわれる「米」「水」「人」にそれらを育む「佐渡」を加えた「四宝和醸(しほうわじょう)」を掲げ、佐渡の自然と文化を活かした酒造りを行っています。

この「四宝和醸」を象徴した酒が「真野鶴 純米吟醸 朱鷺と暮らす」。酒米は、佐渡相田ライスファームが独自に開発した加茂湖の牡蠣殻を利用した「牡蠣殻農法」を用いた減農薬・減化学肥料により栽培した「越淡麗」を使用。それから、島の2つの山脈が生む軟水、手間隙惜しまず手造りを守り続け良い酒を醸し出そうという強い信念をもった蔵人たち、そして、佐渡の自然により醸された酒です。

平成26(2014)年、尾畑酒造は廃校となった「日本で一番夕日が見える小学校」と謳われた旧西三川小学校を活用し、酒造りの場として再生することを決め、「酒造り」「学び」「交流」「環境」を4本柱とした「学校蔵プロジェクト」をスタートさせました。学校蔵の酒造りでは、オール佐渡産を目指しています。原材料はもちろん、学校プール跡に設置した太陽光パネルから電力送電も開始し、平成29(2017)年より電気に関しては理論上100%再生可能エネルギーでの酒造りが可能になりました。また、学校蔵では酒造りの仕込み体験希望者を受け入れたり、交流事業として「学校蔵の特別授業」と題するワークショップも行っています。これらの事業をきっかけに国内外から多くの人が佐渡との接点を持ってくれることを目的としています。

「真野鶴」は、海外にも16か国に輸出されており、世界の方々に佐渡の素晴らしさを広げています。

編集後記

蒼く澄み渡る秋空、爽やかな涼風を感じる季節になりました。秋の楽しみと言えば、色々ありますが、旬の食材を美味しく味わったり、紅葉狩りに出かけたりするのも良いですね。

今号のセンターだよりでは、「妙高市」様の市町村紹介や新規採用職員、「尾畑酒造」様の酒蔵などをご紹介させて頂きました。御寄稿頂きました皆様へ感謝申し上げます。

センターだよりは、当センターの活動内容や地域の魅力的な情報をお伝えする広報誌として発行しております。何かお気づきの点が御座いましたら、お気軽にご意見・ご感想をお寄せ頂ければ幸いです。

編集委員 試験部 山口 敏彦

